

第 64 年度（平成 29 年度）事業計画書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

平成 29 年度事業計画

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

1. 研究助成金の交付

◇「研究助成」

全国を対象に理事または評議員（シオノギ関係者を除く）からなる選出委員が候補者を選出する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で正式な助成決定をする。被選出者との直接の利害関係者は選考に加わらないよう選出内規に定めている。

◇「特別研究助成」

大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で正式な助成決定をする。応募者との直接の利害関係者は選考に加わらないよう選考内規に定めている。

2. 研究成果報告

- ・塩野義製薬株式会社 医薬研究センターにて、「第 36 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催する。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。財団ホームページにて成果報告（研究助成発表会講演要旨等）の公開を行っている。

3. 助成の募集

- ・「平成 30 年度特別研究助成」の公募を行う。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

1) 研究助成（全国対象：50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20 件 計 1,000 万円

2) 特別研究助成

(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象, 250 万円/件・年) :

2 年目 : 2 件、 新規 : 2 件

計 4 件 計 1,000 万円

総計 24 件 計 2,000 万円 を交付予定

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 第 36 回 研究助成発表会の開催

平成 29 年 7 月 28 日 (金) 午後 1 時から

於 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町 3-1-1)

プログラムは【別紙 2】の通り。

助成期間が終了した、平成 25 年度新規「研究助成」交付者および平成 27 年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費 : 250 万円

3. 助成の募集他

「平成 30 年度特別研究助成」の募集テーマを決定し、公募する。
また、選考委員会を開催し、審議する。採択数は 1~2 件程度の予定。

これら公益目的事業推進費 : 459 万円

事業費総計 : 2,709 万円

以上

平成 29 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1件 50万円×20件= 計 1,000万円)

助成	所属 (申請時)	研究者	研究テーマ
4年目	京都大学大学院薬学研究科	竹本 佳司	抗多剤耐性結核菌活性を有する caprazamycin 類の合成研究
4年目	山形大学地域教育文化学部 食環境デザインコース	鈴木 拓史	希少糖 (レアシュガー) の消化管吸収機構と小腸機能回復に与える影響
4年目	金沢大学医薬保健研究域 (薬学系)	加藤 将夫	有機カオチン膜輸送体の臓器疾患と薬物治療に及ぼす役割
4年目	東京大学大学院医学系研究科	浦野 泰照	蛍光プローブの論理的精密設計に基づく、細胞生命現象・in vivo 微小がんイメージングの実現
4年目	大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学分野	富田 修平	肺高血圧症に伴う血管リモデリングに寄与する低酸素応答性エフェクター分子の解析
3年目	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)	矢倉 隆之	グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用
3年目	京都薬科大学 生薬学分野	中村 誠宏	メディシナルフラワーを素材とした生体機能性成分の探索
3年目	東京薬科大学 薬学部	矢内 光	強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発
3年目	首都大学東京 都市教養学部 理工学系生命科学コース	安藤 香奈絵	神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による神経変性のメカニズム
3年目	滋賀医科大学 薬理学	今村 武史	糖尿病病態因子による幹細胞障害の同定と治療法の試み
2年目	金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室	金田 勝幸	ストレスによる薬物依存症再燃メカニズムの解明
2年目	慶應義塾大学薬学部	大江 知之	肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製
2年目	静岡県立大学食品栄養科学部	増田 修一	ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析
2年目	香川大学医学部薬理学	西山 成	生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発
2年目	埼玉大学大学院理工学研究科	松岡 浩司	超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出
新規	名城大学薬学部	北垣 伸治	シクロファンを面不斉を利用した新規触媒の開発
新規	大阪大学大学院工学研究科	鳶巣 守	生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発
新規	帝京大学薬学部	高橋 秀依	軸不斉を活かした医薬品の分子設計・高活性化化合物の創製
新規	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	岡 正啓	細胞核輸送ネットワークと高次生命機能
新規	近畿大学薬学部	田邊 元三	サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価

◆ 特別研究助成 (1件 250万円×4件 = 計 1,000万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ
2年目 第1位	京都大学大学院医学研究科 循環器内科学	牧山 武	ラミン A/C 遺伝子関連心筋症におけるヒト iPS 細胞・ラットモデルを用いた病態解明・治療法開発
2年目 第2位	神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門	池田 真理子	福山型先天性筋ジストロフィーの中枢神経症状に対する細胞移植治療法の開発
新規 第1位	京都大学大学院 薬学研究科 薬品有機製造学分野	大野 浩章	低分子・中分子創薬を加速する革新的骨格構築法の開発と応用
新規 第2位	大阪大学大学院薬学研究科 天然物化学分野	古徳 直之	統合的戦略に基づく新規 PPI 阻害剤の創製

以上

第 36 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時：平成 29 年 7 月 28 日(金)13 時 00 分から 17 時 20 分

場 所：塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町 3 丁目 1 番 1 号)

TEL : 06-6331-5105【事務局直通】, 06-6331-8081【代表】

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演 題 (講演 25 分、討論 15 分)座 長

13:05-13:45 1. 不活性結合活性化を伴うトリフルオロメチル化反応の開発

柴田 哲男 先生

(名古屋工業大学大学院工学研究科

分子合成化学分野)

北 泰行 先生

13:45-14:25 2. 動的活性制御を指向した環境応答型新規 N-アルキル芳香族アミドの創製

岡本 巖 先生

(昭和薬科大学 薬品化学研究室)

首藤 紘一 先生

代理

大和田 智彦先生

14:25-15:05 3. 「大学の企業化」による医薬品研究開発に対する影響の分析

柴山 創太郎 先生

(東京大学薬学系研究科

ファーマコビジネス・イノベーション教室)

桐野 豊 先生

15:05-15:20

休 憩

15:20-16:00 4. 筋ジストロフィー、多発性硬化症などの神経疾患に関与する

O-マンノース型糖鎖修飾の合成化学的機能解明

比能 洋 先生

(北海道大学大学院 先端生命科学研究院)

西村 紳一郎先生

16:00-16:40 5. 加齢・生活習慣要因による視床下部機能の変調に関わる分子機序の解明

香月 博志 先生

(熊本大学大学院生命科学研究部

薬物活性学分野 薬理学研究室)

佐藤 公道 先生

16:40-17:20 6. 《特別研究助成》

蛋白質工学的手法によるサイトカイン-レセプター相互作用の複雑性の理解とその制御による革新的創薬

角田 慎一 先生

(神戸学院大学薬学部 生命薬学部門)

塩野義製薬(株)

研究員

以上